

# 道徳学習指導案

授業者 白砂 貴之  
学級担任名 白砂 貴之

- 1 日時 平成30年 10月 30日（火曜日）5校時（13:30～14:20）
- 2 学級 2年 2組（3年 4組 教室） 男子 16人 女子 16人 計 32人
- 3 主題名 家族の深い愛  
内容項目 C（14） 家族愛 家庭生活の充実  
資料名 「美しい母の顔」

## 4 主題設定の理由

### （1）ねらいとする道徳的価値

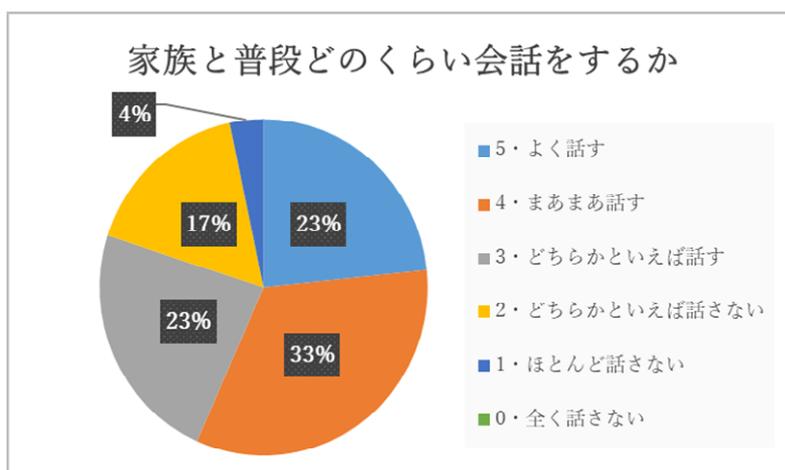
中学2年生は、周りにいる人から日々刺激を受けながら心身ともに大きく成長しており、生徒たちの成長には周りの人の存在は欠かせない。中でもいちばん身近である家族の存在は大きい。しかし、生徒たちは家族に対して、支えられていることへの感謝の気持ちをもつことや、素直な気持ちで接するという機会は少ない状況にある。それは、生徒が思春期を迎えたことで、家族と向き合い、素直に会話を行うことができない時期にあるからだと考えられる。

本資料は、顔に大きなやけどの痕がある母親を嫌い、それを友人に見られたくない一心で隠そうとする主人公が、ある日、忘れ物を届けに学校に来た母親に対して怒鳴ってしまう。しかし、自分を火事から守ろうとして母親がやけどを負ったことを知り、深い感動の中で、感謝の気持ちとこれまでの非情な言動への後悔で胸がいっぱいになる。さらに、家族の深い愛情を理解したことで、母親のやけどを「愛のしるし」と誇りに思う姿が描かれている。

中学校学習指導要領には、本内容項目のねらいとして、「父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。」とある。本資料を通して、今の自分があるのは家族がかけがえのない我が子として深い愛情をもって育ててくれたからであることに気づかせ、家族に感謝し、より充実した家庭生活を築こうとする道徳的態度を育てたい。

### （2）生徒の実態

本資料を扱うに際し、2年2組の生徒に家族についての質問紙調査を実施した。「1日の中で家族と会話をする機会はどのくらいあるか」を0～5までの6段階で評価させたところ、「よく話す(5・23%)・まあまあ話す(4・33%)・どちらかといえば話す(3・23%)」と、日常的に家族と会話をしているという意識のある生徒は過半数であった。また、「どのような会話をしているか」という問いに対しては、「学校であったこと」や「習い事のこと」などが多く見られた。さらに、「家族とはどのような存在か」という問いに対しては、「大切な存在」や「必要な存在」というだけの回答が約70%であり、その中でも「悩みを打ち明けたりできる気の許せる存在」や「誰よりも自分のことを理解している存在」といった家族を信頼する気持ちを記す回答も少数見られた。



以上の結果から、日常的に家族との会話はあるものの、改めて家族のことについて考える機会が少ない様子が見えてくる。そこで、本資料を扱うことにより、生徒一人一人がそれぞれの家庭生活や家族についてじっくり考える機会にしたいと思う。本資料のような特別なエピソードはないにしても、家族との関わりの中で言い合いになるなど、対立することはあるので、そのときの家族の思いを考えることで、家族愛について追求させたい。また、当たり前のように生活してきた家族の大切さや、当たり前のような毎日は、家族や周りの人に支えられているから迎えられているということにも気づかせたい。

## 5 本時の指導

### (1) 本時のねらい

父親の話から、母親の顔のやけどの真実を知った「私」の心情を考えることを通して、相手の立場についても考えられるようになり、より充実した家庭生活を築こうとする考えをもつ。

### (2) 授業構想

まず、導入として最近家族とどのような会話をしたか問いかける。事前に行った質問紙調査から「学校であったこと」や「習い事のこと」など、抽象的な意見が出てくることが予想される。その場合は、具体的に何について話したかまで述べるよう促す。次に「あなたにとって家族とはどんな存在か」と問いかける。この質問も事前の調査にあったように「大切な存在」や「必要な存在」、「断ち切ることのできない存在」などの抽象的な回答が出てくることが予想される。そこで、「なぜ大切なのか」、「なぜ必要なのか」と問い返す。しかし、生徒からは回答が思うように出てこないと考えられる。ここで、今回のテーマである「家族ってなんだろう」を提示する。家族とはどのような存在か、普段あまり考える機会がなかったことについて今回は深く考えることを告げる。さらに、教師自身の中学生時代の経験を交えながら、今の時期は家族との会話が少なくなる傾向にあることを伝える。その原因として、思春期という発達の段階や、日常的な会話の中で「勉強をなさい」など、注意される機会が多くなることなどに触れ、改めて家族のあり方や家族の一員としての自覚について考えていくことを伝える。

資料の範読を行った後、本資料のあらすじをおさえる。まず、母親はどんな気持ちで「友達を呼んだら？おいしいケーキを作ってあげるわよ」と「私」に言ったのかを考える。娘のことを大切に思う気持ち、娘を喜ばせたいと思う気持ちなどの、母親として娘を思う気持ちを読み取ることができると考えられる。しかし、「私」は母親の顔を友人に見られたくない一心で拒否し、母親の思いにも気づけていないことをおさえる。次に、学校に忘れ物をもってきた母親に対して怒鳴り、振り向かずに教室にかけこんだときの私の気持ちについて考える。忘れ物をもってきてくれたことに対する一瞬の安堵はあったものの、母親を見られて恥ずかしい気持ちや、友人に悪口を言われまいという不安、さらには母親に対してなぜ来てしまったのか、許せないといった憤りなどの意見が出てくると考えられる。ここで、「私」の心情を共感的に理解しながらも、自分の思いだけが先行してしまい、まだ母の思いに気づくことができずにいる自分本位な心情をおさえる。ここで、「私」の心情を考えることで、日頃の感謝を忘れ、母親を怒鳴る「私」のような残酷さは、少なからず自分たちの中にもあることに気づかせたい。

そして、主発問である胸がつまって言葉にならなかったときの「私」の気持ちを考える。自分を犠牲にしてまで守ってくれたことや、本当のことを黙っていてくれたことなどの母親に対する感謝の気持ちと、真実を知り、これまで散々ひどいことを言ってしまった後悔の気持ちの大きく2つが出ると考えられる。このとき、真実を知ったことで「私」の母親への思いに変化があったことをおさえるが、それだけでなく、問い返しを行うことで、「私」の心情を主体的にとらえる機会を作りたい。例えば、これまで隠していてくれたことに対する感謝の気持ちという意見に対し、「隠しておくことが愛情なのだろうか？」や、「一生知らなけ

ればよかったのでは？」など問い返すことで、自分の立場になったときの心情として考えさせたい。また、母親と同様に、ここで真実を話した父親の思いにも触れたい。

最後に、「私」が母の顔を“美しい”と思っているのはなぜかについて考える。ひどいけがをしてまで、自分を助けてくれたことを誇りに思い、愛情の深さの証拠だから、などの母親に対して感謝する意見が出てくると考えられる。そこで、「私」はなぜ“美しい”という表現を使ったのか問い返す。この“美しさ”とは「私」が母親の愛情を知ったことで見出した感情であり、外面だけでは分からないことをおさえる。この時も、「明日また母親が学校に来たらどうするか。」などと問い返すことで、主体的に「私」の心情をとらえる。

最後に、ワークシートに本時の振り返りを自由に記入する。これまでの自分自身の生活を振り返ることや、今後、より家族のことを思った関わり方などが記入されていることを期待する。本資料ほどのエピソードはないにしても、少なからず家族との対立や、「私」の以前の心情に共感できる場所はあるはずである。そのときの自己を振り返ることができるだけでなく、家族の思いも考えられるようにしたい。また、当たり前のように生活できている家族の大切さや、周りの人たちに支えられていることなどへの感謝の気持ちにもつながるとよい。

(3) 本時の展開

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 指導過程   | <p>○教師の働きかけ ・予想される生徒の活動 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主発問</span> ☆支援 ◎留意点 ◇評価</p>  |  |   |
| つかむ  | <p>○最近家族とどんな話をしたか。<br/>         ・今日の晩ご飯何? ・テスト勉強をやりなさいと言われて言い争いをした ・そもそも全然会話をしていない<br/>         ○家族とはどんな存在か。<br/>         ・ご飯を作ってくれたり、悩みを聞いてくれたりする、大切な存在。 ・口うるさくてうっとうしい。<br/>         ・面と向かっては言えないけど、感謝しているかけがえのない存在。 ・別に何とも思わない。<br/>         ◎些細なことでもよいと伝え、発表や話し合いに対する抵抗をなくすよう配慮する。</p>   |  |   |
| 広げ   | <p>○資料を範読する。<br/>         ○母親はどんな気持ちで「友達を呼んだら?おいしいケーキを作ってあげるわよ」と言ったのだろうか。<br/>         ・娘のことを大切に思う気持ち ・娘を喜ばせたいと思う気持ち<br/>         ○学校で母親を怒鳴り、振り向かずに教室にかけこんだときの私はどんな気持ちだっただろう。<br/>         ・お母さんを見られて恥ずかしい気持ち ・友達に悪口を言われぬ不安な気持ち<br/>         ・来ないでと言ったのに何で来てしまったのか許せない気持ち<br/>         ・ ◎「私」の心情を共感的に理解しながらも、自分の思いだけが先行してしまい、母の思いに気づくことができずにいる「私」の自分本位な心情をおさえる。</p>   |  |   |
| 見つけ  | <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">胸がつまって言葉にならなかったときの「私」の気持ちを考えよう。</p>   |  |   |
| 高める  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>&lt;ありがとう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を犠牲にしてまで守ってくれたこと</li> <li>・本当のことを黙っていてくれたこと</li> <li>・傷つけても何もないかのように接してくれたこと</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>&lt;ごめんなさい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散々ひどいことを言ってしまったこと</li> <li>・お母さんの気持ちに気づけなかったこと</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>◎「私」の心情の変化に着目する。<br/>         ☆意見が思いつかないA君には、『「私」はなぜ泣いているのだろう。』と問いかけ、「私」が感謝の気持ちや後悔の気持ちを抱いたことに気づくよう助言する。<br/>         ◎意見に対して問い返しを行い、「私」の心情を主体的にとらえる。</p> | <p>&lt;ありがとう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を犠牲にしてまで守ってくれたこと</li> <li>・本当のことを黙っていてくれたこと</li> <li>・傷つけても何もないかのように接してくれたこと</li> </ul> | <p>&lt;ごめんなさい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散々ひどいことを言ってしまったこと</li> <li>・お母さんの気持ちに気づけなかったこと</li> </ul> |
| <p>&lt;ありがとう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を犠牲にしてまで守ってくれたこと</li> <li>・本当のことを黙っていてくれたこと</li> <li>・傷つけても何もないかのように接してくれたこと</li> </ul> | <p>&lt;ごめんなさい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散々ひどいことを言ってしまったこと</li> <li>・お母さんの気持ちに気づけなかったこと</li> </ul>   |  |   |
| つなげる   | <p>○「私」が母の顔を“美しい”と思っているのはなぜか。<br/>         ・ ひどいやけどを負ってまで自分を助けてくれた母を誇りに思っているから<br/>         ・ 母の顔のやけどは自分への愛情の深さの証拠だから<br/>         ○「私」はなぜ“美しい”という表現を使ったのか。<br/>         ・ “美しい”は見た目ではなく中身のことから ・「私」だけがわかる母親の愛情だから<br/>         ・ 母親の愛情や生き方は目に見えないものだから<br/>         ◎意見に対して問い返しをする。<br/>         ○あなたにとって家族とは何だろう。感じたり考えたことを書こう。<br/>         ◇家族の深い愛情によって育てられてきたことに感謝し、より充実した家庭生活を築こうとする考えがもてたか。<br/> <div style="text-align: right;">(発言、ワークシート)</div></p>   |  |   |

# 『美しい母の顔』

テーマ

家族って何だろう

## ○ 母親を怒鳴る

- ・母親を見られて恥ずかしい
- ・友人に悪口を言われなにか不安
- ・何で来たのか許せない

## ○ 言葉にならない

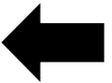
- ・自分を犠牲にしてまで守ってくれた
- ・本当のことを黙っていつくめた
- ・傷つけても何もなかったかのように接してくれた

感謝

- ・母親に散々ひどいことを言ってしまった
- ・母親の気持ちに気づけなかった
- ・申し訳ないと思う気持ちでいっぱい

後悔

## ○ “美しい”



- ・見た目ではわからないもの、中身
- ・「私」だけが思っている

・母親の「私」への愛情は目に見えない

やさしいそ

名 前

組 番

- この時間を感じたこと、考えたことをまとめてみよう。

